

## 全国国会議員対象「社会保障のありかた」についてのアンケート 結果概要

私たちが「社会保障の充実を！」との声を届けようとする政治を担い手である国会議員のみなさんお一人おひとは、これからの社会保障のありかたをどのように考えているのでしょうか。つどい開催に先立って、事前にアンケートを実施しその結果をまとめました。

対象 国会議員 721 人（衆議院議員 479 人 参議院議員 242 人）  
期間 2009 年 1 月 30 日～2009 年 3 月 13 日  
有効回答 75 人（衆議院議員 47 人 参議院議員 28 人）  
回答率 10%

### 問 1. 「社会保障立国」目指そう！

社会保障費の伸び 2200 億円圧縮に象徴される社会保障分野の構造改革をやめ、社会保障の充実によって国民生活を豊かにする、いわば「社会保障立国」の実現を目指すことについて

賛成 71 (95%) 反対 0 分からない 0 その他 4 (5%)

### 問 2. 社会保障をみんなのくらしの基盤に！

福祉に依存しないことや、働いて得た収入で自活することだけを「自立」ととらえるのではなく、ヨーロッパなどでみられるように、社会保障各施策を利用しながら自己実現を図っていくことも自立であり、そういった方向での社会保障制度を確立することについて

賛成 71 (95%) 反対 0 分からない 0 その他 3 (4%)  
無回答 1 (1%)

### 問 3. もっと活用できる施策・制度内容に！

対象や期間が限られていて、ほとんどの失業者は受け取ることができない雇用保険の給付拡充や、勤労貧困層への住宅・教育保障など、社会情勢の変化に即応した社会保障の範囲の拡大について

賛成 72 (96%) 反対 0 分からない 1 (1%) その他 2 (3%)

### 問 4. 負担は能力に応じたものに！

「負担なければ給付なし」といった弱者切り捨てにつながる考えかたや、利用料負担の応益負担原則を見直し、負担は能力に応じた応能負担を原則とすることについて

賛成 68 (91%) 反対 2 (3%) 分からない 0 その他 5 (7%)